

4 高校部員と合同演奏

7日 篠山吹奏楽団が「サマコン」

篠山吹奏楽団は、7日午後6時から田園交響ホール（丹波篠山市北新町）で「サマーコンサート」を開く。高校生との合同演奏があり、同市内の篠山産業、篠山東雲、篠山鳳鳴の3高校に加え、初めて丹波市の柏原高校の吹奏楽部も出演する。総勢108人のステージとなり、心を一つに迫力のある演奏を響かせる。入場無料。

これまでの合同演奏は丹波篠山市内の高校に声をかけていたが、柏原高校にも丹波篠山出身のメンバーがいることを知り、参加を打診した。

第1部は高校生ステージで、各校がそれぞれ1-3曲を演奏。第2部は篠山吹奏楽団のステージで、童謡の「はと」をテーマに世界旅行を表現



サマーコンサートに向けて合同練習に励む団員と高校生ら＝丹波市柏原町東奥で

した吹奏楽曲「はと」の曲を披露する。第3部は合同ステージ。「マードックからの

最後の手紙」「高城山の空は燃ゆ」の2曲を演奏する。「高城山」は昨年、楽団発足45周年と定期演奏会40回を記念して作曲を依頼した委嘱作品。中世から始まる丹波篠山の歴史ロマンを表現したドラマチックな楽曲となっている。

全員での合同練習は4月以降2回行い、今月1日は柏原高校内の同窓会館「柏稜会館」で音合わせした。同高吹奏楽部の

部長（3年、山南中出身）は「大人と一緒に演奏する機会はあまりなく、目指す方向を示してもらっている。大人数なので全方向から音が響いてくる感じがする。盛り上がるのピークの『音圧』を楽しんでほしい」と笑顔。

部長（65）

2025年6月5日

丹波新聞